

グループホーム はる

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次にステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスとしての意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	「こころのバリアフリー」を掲げ認知症の症状を個々ととらえ職員は常に理念を意識した実践になっている	利用者と同じ次元に立って生活支援をしていこうとする基本方針である。職員はよく理解し周知も図られている。建物の正面にも掲示され地域のGHとしてその存在も確かなものであると言える。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	今のGH入居者の現状から日常的な交流はなかなか取れていない	令和3年初頭、全国的なコロナ禍の影響を受け感染防止対策の為、地域交流や、ボランティアの受け入れ等は大幅な制限をされるに至り本来の活動が出来ないのが現状である。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	事業所は自治会に入っており地域活動に出きるだけ参加している自治会長との交流があり理解に努めている		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は2ヶ月に1回必ず行い情報報告し会長や地域包括の方に助言して頂きサービス向上に努めている	会議は2ヶ月に一回開催され外部からは自治会長、地域包括、家族代表に参加を求め事業所内の報告、意見交換、提案の検討が行なわれる。結果は家族に電話で報告され共有化が図られている。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら協力関係を築くよう取り組んでいる	地域包括職員に情報提供を頂きながら連絡を密にとっている	地域包括との連携を主軸として地元全体と事業所の関係を情報交換や相互協力維持に努めている。施設長自ら事務手続きの遣り取りで赴く事もあり直接の関係性の維持にも努めている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束しないケアに取り組んでいる	拘束についてのマニュアルを作り家族の理解を求め書類にサイン・捺印をもらっている安全確保のため、理解を求めている。	身体拘束のない介助及び支援活動を実現させている。策定されたマニュアル書は家族も承諾されたものであり職員も共有しあっている。夜間は見守りを重点的に実施する事でベッド柵はされていない。玄関の施錠は利用者の安全と防犯を兼ねたものである。	
7		○虐待防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	高齢者の事故があった時はミーティングをとり職員のあつてはならないことなど徹底に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるように支援している	個々の必要性がある場合、学ぶ機会をもち支援する		

9	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>家族に説明を行い理解して頂き不安や不信感を持ってもらわないように努力している</p>		
10	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>常に情報報告し要望、ご意見があれば対処するように努めている</p>	<p>意見や要望は来訪時に話される事が多く何時でも会談は可能である。事業所からの電話連絡する時も運営会議に参加も願える。要望意見は双方が互いに検討し実現可能な形で反映されている。</p>	
11	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>朝の申し送りなどミーティングを取っている</p>	<p>職員会議を中心に意見や要望が提起され討議されている。申し送り時や仕事中に気が付いた事でも、すぐに話せる環境である。この事が運営の改善に繋がっている。</p>	
12	<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>勤務状況は把握。各自が向上心を持って働けるよう職場環境を整えやりがいのある職場にするよう努めている</p>		
13	<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際の力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>資格習得の推進を勧める研修は出来るだけ参加し介護の向上に努めている</p>		
14	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている</p>	<p>グループホーム連絡協議会などには積極的に参加している</p>		

II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
15	○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	環境の変化による不安など出来る限り寄り添い馴染みの関係が出来るように努めている		
16	○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族様の要望等を聞き何でも話しあえるような雰囲気作りをして関係をもてるように努めている		
17	○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	家族様の要望を聞きサービス利用の順位を考え支援を相談しながら対応している		
18	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	一方的な介護ではなく本人の気持ちになって支援できるように関係を築いている		
19	○本人と共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	一方的な介護ではなくご本人と家族の絆を大切にし連絡を取りあい共々にご本人を支えていく関係を築いている		
20	8 ○馴染みの人や場と関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	大切にしてきた馴染みの人や場所など関係が途切れないよう家族などに協力を得て支援に努めている	利用者一人ひとりの生活歴や親しい人との関係を熟知している。友人の訪問者の受け入れや、家族と共に出かける事も可能である。中には正月を家で過ごされた例もある。	
21	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	一人ひとり孤立せず利用者との関係を把握し協力を得て支援に努めている		
22	○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	関係性を大切にしながら支援相談に努めている		

Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

23	9	○思いやり意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	一人ひとりの希望や意向を把握し本人本位で検討している	利用者一人について担当者を付ける事で、より深い考察が得られている。微妙な判断からくる原因究明によって利用者が一人で悩む事のないように安心して生活をしてもらうような努力をしている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	生活歴や生活環境等の把握に努めている		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人ひとりの過ごし方を把握し心のケアを大事にし穏やかに過ごせるよう努めている		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人家族や必要な関係者と話し合い介護計画をもとに必要に応じて話し合い意見を聞いて計画を作成している	介護計画担当者を中心に利用者の担当職員、主治医、管理者等でモニタリング、ADL、サービス計画書、個人記録を参考にし、家族の意見を得た上で計画書を完成させている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子など個別記録に記入し情報を共有しながら実践に反映している		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご本人の状況の気づいた変化など家族に伝えその時々生まれたニーズに対応しサービスの提供に努めている		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	ご本人の心身の力を発揮できる支援をしながら豊かに穏やかに過ごせるよう支援している		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	受診の必要性を家族に伝え又、同行の協力を求めてかかりつけ医と連絡を取りあいながら適切な医療を受けられるよう支援している	協力医を佐藤病院とする事で家族の了承を得ている。毎月二回の診察と、入院が必要な時は適切な判断をしてくれる。歯科も週一回の割合で往診を願っている。	

31	<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるよう支援している</p>	<p>急変があった時は家族に連絡を取り在宅医療に指示を仰ぎ適切な受診が受けられるよう支援している</p>		
32	<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>入院や退院の際、家族と連絡をとり情報の交換や相談に努めている</p>		
33	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や、終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>重度化した場合や終末期の場合は家族と相談しながら今後の方針を共有し医師の指示をもとに支援に取り組んでいる</p>	<p>主治医から重度化に向かい始めているとの判断を受けた段階で、再度事業所側と家族と主治医が話し合いをして今後の支援方針を決定する。</p>	<p>これからも、事業所でどこまで介助支援が可能かを検討され続けていられるようお願いしたい。</p>
34	<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>急変や事故発生等の訓練はとくに行っていない。今後訓練を行い実践を身につける必要性がある</p>		
35	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年、2回の避難訓練を行っている</p>	<p>避難訓練として職員が中心になって年二回実施している。早期通報の重要性を自覚されている。避難所は近くの自然公園である。水害については二階を避難場所としている。</p>	<p>夜間に於ける避難は想定外の困難さと救助人員の集め方の難しさも考えられます。前回の目標達成計画にもありましたが引き安定した救助体制づくりをお願いしたいです。</p>

IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人ひとりの人格を尊重し自尊心を傷つけない言葉かけに注意し馴染みの関係が出来るように対応している	人格の尊厳、プライバシーの確保の基本は言葉使いと一体のものと自覚されている。内部研修においても10項目の注意書きを定めている。この対応の結果が逆に心の距離感を派生させないようにする事も認識されている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日々の行動や表情で何を訴えているかを感じ対応している		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	安全安否を重視し一人ひとりのペースを大切に希望に沿って支援している		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	馴染みの美容室がありその人にあった髪形や服装を支援している。今は訪問美容室を利用している		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	モヤシの根取りや引き膳の盆拭きなどしてもらっているが見守りが必要である	食材調達から料理、配膳あと片付けまで事業所でおこなう。その中で利用者にも手伝い可能な事は参加してもらい、生き甲斐や、楽しさ、と頑張って頂くような配慮と支援をされている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、集会に応じた支援をしている	水分補給や食事量などは記録を取っている。体重測定は月1回行い管理している		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	口腔ケアは毎食後行い夕食後入れ歯を除菌のためつけ置きし管理している。ご本人ができない場合は介助している		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄パターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	排泄管理で必要な人には時間誘導している	排泄チェック表を基準に一人のひとりの時間的パターンを把握している。現在4名の方が職員の時間誘導を受けている。排泄時間の習慣性と脚力維持の体操を行い、自立排泄に向けての支援を行っている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘気味の方には医師の指示を仰ぎ服薬を調整している		

45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	個人別に週2回入浴している。曜日や時間など希望に添えないのが現状である	湯の交換は毎回行われ、肌着の交換もされている。現在、入浴を拒む方はいないが職員の誘い方も利用者の入浴意欲を高める事をよく理解されている。年に何回は菖蒲湯や柚子湯を利用してもらっている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	その時々状況に応じて休息したり安心して穏やかに休息が取れるように支援している		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や要領について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個別に服薬ファイルを管理し服薬変更は朝のミーティングで伝え申し送りノートに記載している		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	引き膳のお盆拭きやテーブル拭きなどしてもらったり塗り絵や壁飾りの手作りや力を生かした役割、楽しみ事など気分転換を図っている		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	デイケアを利用できる人は週3回行っている。裏には公園があり、環境に恵まれているので天気の良い日は外気浴や散歩に出ている	事業所に接した所に自然公園があり日常的な外出支援の場として利用している。春秋の花見などもできる。時には京阪のくずはモールまで向いて食事をする事もある。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	金銭は所持できないが外出や買い物には職員が確認し支払えるよう支援している		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	届いた手紙などはご本人に渡して書ける人は年賀状を書いてもらい支援している		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	毎月のお楽しみの予定を掲示しその月の塗り絵などを貼り付け、季節感を出し工夫している	家庭的な雰囲気のあるリビングであり、そのややテレビ側に位置するテーブルを囲むように寛ろいである。テレビは壁側に見やすい所にセットされている。手芸工作の展示も楽しい。利用者の距離も自然に話せる位置がいい。長時間寛げる家庭的な共用空間といえる。	

53	<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>居間では利用者どうしがTVを見たり談話したりして過ごしている。玄関にはベンチを置き、腰かけたりして自由に過ごしてもらっている</p>		
54	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>タンスや写真や飾り物など穏やかに過ごせるよう工夫し床は畳にしている</p>	<p>畳を敷き詰めた日本間のせいか独特の落ち着きを感じさせている。自分だけのお気に入りの物を揃え、自分だけの部屋作りをされている。利用者にとって大きな表札は分かりやすい。</p>	
55	<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>お手拭きのタオルたたみや、もやしの根取りなど職員と一緒にしている</p>		

V アウトカム項目

56	職員は利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目：23, 24, 25)	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目：18, 38)	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目：38)	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目：30, 31)	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目：28)	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目：9, 10, 19)	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねてきている (参考項目：9, 10, 19)	○	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどいない

65	<p>運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目：4)</p>	○	<p>①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない</p>
66	<p>職員は、生き活きと働けている (参考項目：11, 12)</p>	○	<p>①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない</p>
67	<p>職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う</p>	○	<p>①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない</p>
68	<p>職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う</p>	○	<p>①ほぼ全ての家族等が ②家族の3分の2くらいが ③家族の3分の1くらいが ④ほとんどできていない</p>